

1. 件 名：新規制基準適合性審査の進め方に係る意見交換（島根2号機）

2. 日 時：令和3年7月12日 13時30分～14時20分

3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全規制調整官、江壽企画調査官、齋藤企画調査官、義崎管理官補佐、建部主任安全審査官、千明主任安全審査官、服部主任安全審査官、宇田川安全審査官、照井安全審査官、大野安全審査専門職、日南川技術参与、中村原子力規制専門員

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源土木） 他7名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

- ・ 島根原子力発電所2号機 工事計画認可申請（補正）の概要
- ・ 島根原子力発電所2号機 工事計画認可申請（補正）に係る説明可能時期
- ・ 島根原子力発電所2号機 工事計画認可申請（補正）に係る説明可能時期（詳細）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	。
0:00:03	はい。規制庁のテルイです。それでは島根 2 号炉の工事計画に関する面談を始めたいと思います。それでは中部電力から説明をお願いします。
0:00:17	はい、中国電力のアラシバです。本日はお時間をいただきありがとうございます。
0:00:22	今日はですね当社が今は今現状考えてるの設工認、
0:00:28	の説明可能な時期というのを資料に落とし込みまして、あと 2 個用意させてもらっています。
0:00:34	資料はですね、3 部ございまして、
0:00:38	パワーポイントの資料、それから右肩に 3 縦で別紙 1。
0:00:44	A4A3 横の別紙 2 ということで、別紙 1 と別に今別には若干細かいところまで書いているようなスケジュールの説明可能な時期ということで準備させてもらっております。
0:00:57	それから説明の前にですね、当社の設工認の事務局をちょっとご紹介したいと思いますけども、私のみ右二つ 2 人寄ったところにアガワです。本社の担当部長をしておりますして今後の設工認のトップということでということでよろしくお願いいたしますそれから、
0:01:17	その右ですけども、ナイトウ等と一番左のニシサコと私が事務局の時実務をやるということでさせていただきます。よろしくお願いいたします。
0:01:30	それでは説明に入りたいと思います。ナイトウのほうから御説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。
0:01:39	中国電力の内藤です。それではまずパワーポイントの資料を用いて説明させていただきます。
0:01:47	島根原子力発電所 2 号機の工事計画認可申請補正の概要
0:01:54	です。今後、本資料にはほぼな説明事項と設工認の主な説明事項を追加していくことで考えておりますが本日は補正予定について御説明させていただきます。
0:02:06	1 ページ目をお願いいたします。
0:02:11	しまえ 2 号機の工事計画認可申請補正に関して、本年 8 月末頃に第 1 回補正を実施する予定でございます。
0:02:21	第 1 回補正では費用目標基本設計方針、施設共通施設個別に要求される説明書
0:02:29	耐震性に関する基本方針強度に関する基本方針及び強度計算方法などについて取りまとめることとしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:37	また施設共通及び施設個別に有給される説明書残り及び、あと個別設備の耐震強度計算書などを取りまとめまして、本年 11 月中旬頃に第 2 回補正、
0:02:53	来年 2 月以降に第 3 回補正を実施する予定で考えております。
0:03:00	プラント関係の機器配管系の耐震強度関係の建物構築物関係の耐震関係、あと、
0:03:10	耐津波関係のそれぞれの主な説明内容を説明いたします。まず、プラント関係については、基本設計方針を優先的に御説明させていただいたと要目表に合わせて、設定根拠及び図面を説明予定でございます。
0:03:30	施設共通施設個別におけるされる説明書につきましては、第 1 回、
0:03:35	補正図書について、3 ヶ月程度で、
0:03:38	一通りの説明が可能と考えておりまして、
0:03:42	そのあとコメント回答及び第 2 回補正当初の説明を実施することを想定しております。当然審査状況により説明上も変わってくると思うものと思っておりますが、現時点ではそのように考えてございます。右肩 2 ページをお願いいたします。
0:03:58	続きまして、機器配管系の耐震強度。
0:04:03	関係にあります、耐震性に関する基本方針強度に関する基本方針及び強度計算方法を御説明した後、
0:04:13	第 1 回から第 3 回補正の耐震強度計算書を淳二説明する予定でございます。
0:04:20	機械関係の耐震関係については A3 軸粘性ダンパを設置した主蒸気系配管の詳細設計の結果単軸粘性ダンパを設置した取水槽がん取りクレーンの詳細設計の結果、サプレッションチェンバの内部水を有効質量とした三次元梁モデルによる地震応答解析の妥当性、
0:04:41	浸水防護設備のうち、隔離弁、ポンプ及び配管系について S クラスの機器配管系と同等の基本そう方針を適用した詳細設計の結果について御説明予定です。
0:04:56	建物構築物の耐震関係及び耐津波関係につきましては、耐震性に関する基本方針のうち、機器配管系と共通する方針及び実施地盤の支持性能に関する基本方針を御説明した後、
0:05:12	第 1 回補正図書の現象建物等の地震応答計算書及び津波への配慮に関する説明書の説明に合わせて地震応答解析モデルにおける建物基盤底面の付着力、建物構築物の地震応答解析における入力地震動の評価。
0:05:32	地下水位設定の考え方、漂流物衝突荷重設定の考え方について御説明予定でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:39	その後、内二階第 3 回補正の耐震強度計算書を淳二御説明予定でございます。3 ページをお願いいたします。
0:05:50	島根 2 号機の補正予定は表に示しております通りでございます。
0:05:57	第 1 回補正、
0:05:59	自然現象は安全数。
0:06:03	あと設定根拠については、58 と処分の 57 図書、
0:06:07	安全。
0:06:09	1000 設備。
0:06:10	重大事故等対処設備が使用される条件下における健全性については 5 分の 2 と火災、
0:06:19	補正予定とか、
0:06:21	TOWAその他と各施設に要求される添付書については、
0:06:27	御示している通りでございます。耐震基本方針につきましては、21 図書、
0:06:34	耐震
0:06:36	設計上重要な設備を設置する施設の耐震性につきまして 8 図書、
0:06:41	耐震計算書一部となりますが 23 図書後強度系基本方針と計算方法全図書で強度計算につきましては主に板厚計算となりますが 122 図書、
0:06:52	補正予定でございます。
0:06:54	4 ページ目をお願いいたします。
0:06:56	第 2 回補正では編と設置許可との整合性に関する説明書、あと設定根拠につきましてはここ 1 図書は、
0:07:07	朱色の縮小工につきまして
0:07:12	水路の
0:07:15	外形的ガス系を示すものでしてそれはちょっと第 2 回補正となっております。
0:07:22	その下は
0:07:27	保管アクセスやブローアウトパネルにつきましては、第 2 回補正と考えております。
0:07:34	その他施設共通荷受され添付書類の位置は、ポンプ等の飛散物に関する説明書で、こちらにつきまして耐震計算モデルを使用するのでちょっと第 2 回という
0:07:47	ことで考えております。
0:07:49	各施設区分予期される説明書については、原子炉本体の基礎などの耐震計算負荷並みのものになります。
0:07:57	第 3 回補正につきましては、各施設区分に受けされる説明書は、耐震計算絡みのものと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:05	あと、使用済み燃料、
0:08:07	プールの監視カメラ、これにつきましては冷却設備の設計が現在設計中でございまして、
0:08:16	その性能検証試験性能確認試験が
0:08:21	もう少し時間を要するというので、第3款補正に入れさせていただいております。
0:08:26	あと耐震計算書、
0:08:28	うち施設関係が20図書耐震計算書318図書、
0:08:34	あと強度計算書49ヶ所になります。続きまして、
0:08:41	別紙1と別紙2がスケジュールになりますが、
0:08:45	別紙2は週ごとのスケジュールを示しております、各図書の図書数を右か2列目。
0:08:52	等には示しておりますが、詳細版になりますのでこのスケジュールを簡略化した別紙1のほうで御説明させていただければと思います。
0:09:04	別紙1につきましては、まず判例ですが、
0:09:08	工認補正図書の提出時期を参画
0:09:13	で示しております。
0:09:15	第1回補正図書はキーの第2回補正として範を第3回補正図書は緑でハッチングしております。
0:09:27	第1項第3回補正について2月以降と御説明いたしましたが、ちょっと時期については、まだ具体的に示しておりませんので括弧書きで参画で示しております2月5のところ、
0:09:41	説明につきましては、まずは黄色の第1回補正の図書につきまして、約3ヶ月9011月で一通りの説明は可能だと考えておまして、
0:09:55	そのうちに、
0:09:59	その説明しているうちに、第2回補正のタイミングになっているものと考えております。
0:10:05	第3回お世話2月以降とさせていただいておりますが、第1回ホスト11月、12月以降、
0:10:12	第1回補正分のコメント回答や第2回補正の説明をして、
0:10:18	うちに
0:10:20	提出したいと、第3回補正をしたいと考えております。
0:10:25	kA
0:10:28	施設共通の設添付書類関係。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:31	簡単に説明しますが、そう黄色ハッチングしている自然現象等は先ほど申しました通り、第1回で補正すると。
0:10:40	第2回は、
0:10:44	ちょっとここでは一つの行になってまして黄色になってますが、
0:10:49	健全性に関する説明書のうち、
0:10:52	先ほども言いました。ブローアウトや保管アクセスは2回となります。
0:10:57	あと溢水は二階に考えております。
0:11:04	続きまして、別紙1-2ページ。
0:11:12	彼らは耐震性に関する説明書を示しております。
0:11:18	基本誤信は基本的に編第1回で出して3月制度で一通り説明ちょっとコメント回答、この
0:11:27	青の点線はコメント回答を含む想定期間を示しておりますが当社で考えている想定期間先行なっ
0:11:37	踏まえて考えた想定期間ですが、
0:11:41	なので一通りの説明というのはちょっと
0:11:44	その3ヶ月。
0:11:47	そこからわかりづらいですか。
0:11:49	基本的には9011月で1回御説明したいと考えております。
0:11:57	耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性に関する説明書につきましては、
0:12:04	ここに示しております黄色のもの、原子炉建物等の
0:12:09	地震応答計算書、
0:12:12	その中で、
0:12:15	建物構築物の地震応答解析における入力地震動の評価。
0:12:21	生業室建物の地震応答計算書の中で等を廃棄物処理建物の地震を都会設計地方と計算書の中で付着力の関係を説明いたします。
0:12:36	ちょっと戻りますが、耐震基本方針の
0:12:40	地盤の支持性能に関する基本方針の中では地震地下水の設定の考え方について説明いたします。
0:12:47	また、機器配管の耐震支持設計方針の中では3軸粘性ダンパについて説明いたします。
0:12:58	別紙1-3ページをお願いいたします。
0:13:05	耐震各施設の耐震計算書につきましては、原子炉格納施設の耐震性に関する計算書の中でサプレッションチェンバの内部水を有効質量とした三次元梁モデルによる、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:21	地震応答解析の妥当性を説明いたします。
0:13:24	どう浸水防護施設の耐震性に関する説明書の中で浸水
0:13:30	押し設備の設計の考え方結果。
0:13:34	について説明いたします。
0:13:36	卓球的影響のところでは単軸粘性ダンパを設置帯水層岩体くらいの詳細設計の結果について説明いたします。
0:13:46	この各施設の耐震計算書と強度計算書は、施設ごとに1まとめにしておりますが、詳細は
0:13:57	別紙2-4ページ。
0:14:05	の方に第1回第2回第3回
0:14:11	4ページと5ページですね。
0:14:13	ところで、第1回第2回第3回の各施設ごとのA系、耐震計算書、強度計算書の当社数をお示しております。
0:14:30	スケジュールの説明は以上になります。
0:14:37	規制庁テルイです。それでも、
0:14:42	御質問等ありましたらお願いしたいんですけど。
0:14:47	はい。
0:14:48	はい。
0:15:00	規制庁のエザキです。
0:15:02	今し方あった説明の中で、
0:15:06	確認とりたいんですが、まず第別紙1ですか。
0:15:12	いう。
0:15:13	3ページ1-3ページですね、ここで浸水防護施設の耐震性、いわゆる傍聴を防波壁ですか。
0:15:27	没水駅っていうのがあると思うんですけど、いわゆる浸水防止設備っていうのが、
0:15:32	基本的にちょっとわかりにくいかなってどこに含まれてるかっていうところに入ってるんだと思うんですがそれでよろしいですか認識は、
0:15:45	中国電力のクニシと申します。ヤマダの工認で6月25より電動どこの担当しております。どうぞよろしく願いいたします。ご質問の件ですけれども、防波壁防水平気と含めましてこの浸水防護施設の耐震性に関する
0:16:00	説明書の中に含まれてございます。
0:16:03	以上でございます。
0:16:06	規制庁のエザキですか。それですね、これ間接支持をしているものっていうのはあるとあったんですよ、例えばですけど、例示的に言うと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:17	1-2 ページの
0:16:21	大体真ん中ぐらいにある取水槽の耐震性とか事業と計算
0:16:27	ここは該当します。これがですね基本的に時期がずれていって、第2回、さっきの浸水防護施設が第2回ですよ高いわゆる11月。
0:16:38	できていて、実際のそういう顔と出したりですね間接支持の確認っていうのが2月なっちゃうんですよ。
0:16:47	これが基本的にちょっと
0:16:50	もううまくないなと思ってます。
0:16:52	我々としては、やっぱり当然気相のほうから関連してその荷重出しが適切なのかということから確認は要ると思うんですけど。
0:16:59	いわゆる今御計画されているスケジュールっていうのはその施設間で、
0:17:06	その設計の関連性とかいうのを終わりと配慮されていないんじゃないかなっていうのが一つあります。これはですね、
0:17:16	遠くの中でなんかみんなそういう話があって、どういう計画で説明するのかっていうのがさんさんいろいろとですね。考え直していただいて、契約し直していただいているんですが、まずその部分が今1ヶ所見たわけですけどもお金もないのかということ。
0:17:32	も踏まえてですね、ちょっと確認いただきたいなと思ってるんですが、いかがでしょうか。
0:17:38	中国電力のクニシです。ご指摘の件、
0:17:42	承りましたのでちょっと詳細についてはですね、改めてちょっと持ち帰りまして検討させていただきます一応今の考え方としましては取水槽等については三次元ですね、解析をするということで、少し後回しといいますか第3回目で予定させていただいておりますけど、いただいた御指摘を踏まえて、
0:18:00	検討させていただきますと、実際の中身の話は、
0:18:05	当然、申請からなんですけど、三次元という言葉があったんですが、それは多分女川とか見る限りでは、
0:18:13	動解は二次元疑似的な三次元を貼ると意識して考慮した二次元の解析モデルでやっていて、
0:18:23	交通解析は三次元の有形の層でやってるっていう話なんですけど、それに類似した先行サイト、
0:18:32	当類似するような考え方。
0:18:35	であるならばですけども。
0:18:39	仕事解析は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:41	割と早めに出せれんじやないかなとは思んですが、複数の床応答とかその解析モデルが変わったが、ずっと変わっちゃうわけですね。
0:18:50	解析モデルの妥当性が適切じやないから、追加だとかいろんなことは、解析モデルを是正するようなことが出てきたならば、また変わってしまうわけなんで、そういったリスクも踏まえてですね、計画はされた方がよろしいかと思うんですが、いかがでしょうか。
0:19:08	中部電力クニシです。時仕事計算のほうをもっと早くという御指摘かと理解いたしましたご指摘踏まえてちょっと検討しましてできるだけ早く出せるようにしたいと思います。
0:19:20	規制庁のエザキですが
0:19:23	これを計画するですね、特に許可時で、
0:19:29	問題になった多分購入に申し送り用紙送り事項となる。
0:19:33	べき事項って幾つか
0:19:35	パワポのほうの
0:19:38	2 ページ辺りに書いてありますがこれだけではないと思うので、それを踏まえたときにそうした大きな課題として残されているものを早期にある程度
0:19:49	配っつけたいと、前提条件が変わってきてしまう設計っていうのはある程度前提条件があって、設計やってきますので、そうすると計画が変わってしまうという、そうするとスケジュールも応募生協も変わってくるので、それによって辺り説明の順番は十分に考えられてますかっていうのを聞きたいんですが、
0:20:08	例えば、
0:20:09	多分安定性のほうでもしお聞きになっている防波壁の周辺の地盤改良とかですね、いろいろあったと思うんですが、追加分だとかですね、森どの部分の部分だとかいろいろあったと思うんですが、そういった部分も含めて、
0:20:26	計画をなされていると考えてよろしいんでしょうか。
0:20:30	中国電力のアビルです今の御指摘ですけれども計算書自体はこういうふうに出してるんですけども先行電力と同じですね、1 回目ですね、耐震設計の基本方針というのを津浪も含めて、お出します。そのときに、
0:20:45	申し送り事項も含めた論点をですね、時めしてですね、その議論からまず入っていただいて、さっきのちょっと後ろのほうになってたのはあれもあくまでも計算書ということで、考え方はもう第 1 回遅くとも第 2 回、そこら辺でお話しさせていただきます。予定でおります。
0:21:02	規制庁の佐々木です。わかりました法廷ですねまた今後詳細なスケジュールの調整とかあるとは思んですが、お話とかあると思うんですか。そうそうそう。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:13	だんだん詰まった段階で説明いただくいただければと思います。以上です。
0:21:19	中国電力の阿部です。承知いたしました。
0:21:28	規制庁あるというほか何かありますか。
0:21:34	じゃあ取り除いてそれぞれ人数だけだけヒナガワさを、
0:21:47	原子力規制庁のヒナガワです。すみませんスケジュールの関係じゃないんですが、この今日の資料のタイトル、島根原子力発電所 2 号機となってるんですが、この時はすべて 2 号炉というふうなタイトルがついてたと思うんですが、今後時の使い分けてどういうふうな考え方。
0:22:05	ちょっと説明いただけますでしょうか。
0:22:10	中国電力ナイトウです。設置許可のときは 2 号炉、確かに使っているとは何ですか。今までも後任は誤記でそろえておまして、
0:22:22	そもそも申請の時の 2 号機で申請しておましてその補正ということで、今回の 2 号機でしております。以上です。
0:22:30	原子力規制庁の平賀です。はい。このときはもう今後変えないというそういう理解でよろしいでしょうか。
0:22:39	中国電力の内藤です。はい。設定値恒設孔には 2 号機で変えないということで書かさせていただきます原子力規制庁のヒナガワです。わかりました。以上です。
0:22:55	規制庁の義崎です。先ほど説明の中で SSP のカメラは最後のほうに持っている理由で
0:23:05	性能試験ですが少し遅れているようなこと言ったんですけども。
0:23:10	これらの先行炉の不満会社的とか等に
0:23:15	冷却装置と
0:23:17	同じなんですかね。
0:23:20	中部電力ナイトウです。
0:23:22	ちょっと私が先行炉のその燃料プール監視カメラ冷却設備との違いを把握しておりませんで、ちょっと確認させていただければと思います。
0:23:33	規制庁の予備スペース等を補足書と思うんですけど
0:23:39	すぐにその新しいものなのか、それが新設計なのかで今回島根の工認でそのまま評価方法をその新しいものを取り入れるだとかそういうものがあればですね、教えていただきたいんですが、
0:23:55	中国電力ナイトウです。新設計か、先行機と、明確に違うというものではないと思います。明確に違うものというのは主な説明事項を抽出する際に、
0:24:10	必須しようと考えておまして、
0:24:13	設工認の論点になると思いますけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:17	基本的に設置許可から設置し、設工認に申し送った中で需要アタック先行プラントと違うようなものをピックアップするのは先行と違うもの、それ申し送ってなくても、設置許可の書いたものとか、そういうものをピックアップ書と
0:24:33	しているのです、それには上がってないと思います。
0:24:37	規制庁の義崎ですわかりました。私も総合てますので、もし
0:24:43	そちらから、そういうものがあればですね、早く提示いただければと思います。中国電力の内藤です。了解いたしました。
0:24:55	規制庁取出装荷何戸ますか。
0:25:01	うん。
0:25:07	はい。
0:25:09	規制庁のチギラです。すいませんあの今日御説明いただかなかった別紙2のところちょっと3点ほど確認したいんですけど、まず、別紙2-3ページ。
0:25:21	また耐震性に関する説明書のところで、
0:25:25	この表の中でドイやで、審査資料で補足説明資料及び比較表っていうのが
0:25:35	そこがマークがあつたりなかったりするんですけど、内物についてはへとどういう扱いなのかっていうのが1点目です。2点目がですね、同じページのところで6-2-1-1、耐震設計の基本方針のところですね
0:25:53	ダイヤの°までいいですね、もうちょっと期間があるんですけど、これとかですねと6-2-2の仕事在建家ですね、地震応答解析を計算しているところで、ダイヤまでちょっと期間があると、ここは補足説明資料とかですね、そういった比較資料とかを使わずに、
0:26:13	説明をされるのか、
0:26:16	っていうのですね、ちょっと今見てんちょっとこれお答えいただけますか。
0:26:23	中国電力の内藤です。まずダイヤがあるところとないところにつきましては、
0:26:28	補足説明資料があるものかないものということでないものについては
0:26:36	工認の補正図書本体といいますか、添付書類で説明していくものと考えております。
0:26:42	補足
0:26:44	6-2-2-1とかで補足説明資料の提出が遅いものがあるということですが、これは
0:26:53	ます。
0:26:55	今説明スケジュール説明可能時期を順番に考えておりましたは、
0:27:04	耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性に関する説明書であればまず原子炉建物から説明していつて、
0:27:13	6-2-2の一番阪大か補正が最後。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:16	に説明しようかなと考えております。そこでヒアリングに間に合うように審査資料を出していくということで、
0:27:24	ひし形を置かせていただいております。
0:27:28	6の
0:27:30	ございます。はい。
0:27:32	以上です。
0:27:34	。
0:27:35	中国電力アビルですと今のちょっと補足しますとですねこの例えば私担当してるさっきあの知事さんおっしゃられた6-2-2-2の原子炉計算書、
0:27:46	これ大アガワの後ろの12月になっておりますけども、先ほど江崎さんのほうにお答えした通り、最初に論点をお示してその時はそれなりのヒアリング資料をお出ししますでこの財源は別途、補足説明資料という
0:28:02	提出図書のでそこら辺の議論を踏まえたものを最終的に出すみたいなイメージなので、実際これより前に我々としてはヒアリング資料出して第1回ぐらいのところからもう入力については、審査いただきたいというふうに考えておまして、
0:28:18	ちょっと資料の体裁上こういうふうに資料の提出がこうなってるんですけど、ヒアリング先ほど江崎さんにお答えしたように前倒しで論点についてはしっかりやっていくというふうに考えております。
0:28:30	。
0:28:31	規制庁チギラです。わかりましたじゃヒアリングの際は補足の説明資料とか使って効率的に説明いただけるというふうに理解しました。
0:28:44	中国電力アビルです。そういうふうにご認識いただければと思います。以上です。はい、わかりました。規制庁チギラです。
0:28:53	同じ資料のほうへと4。
0:28:56	別紙2-4ページ目。
0:29:00	ところって、これはちょっとお願い。
0:29:03	なんですが、6-2-10-2。
0:29:07	浸水防護施設は耐震性に関する説明書っていうのがですねこれの一つでくくっているんですけど、これ図書としては21ありますので、できればですね具体的な施設設備かわかるような形でですねここは示していただきたいのと、
0:29:25	耐震性とあと協共次なると思いますので、5ページ目の追加農協の方もですねちょっとその中身をですねちょっと示していただければ助かるんですか。いかがでしょうか。
0:29:39	中部電力の内藤です。了解いたしました、分けて提示いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:48	規制庁のエザキですが、先ほど言った話と繋がりますが、今先行サイトでAB WRで何件かもう認可処分されてる部分もありますんでそれで必ずい。
0:30:03	最後になっていろいろとですね、時間が起きているのがかかっているのがですね、基本的に言うと、間接支持
0:30:11	例えばも含めて、建屋、あと土木構造物でそれが出てくるその不確かさとかですね、幾つかあってそれがどこに影響を与えるかって最終的に機器に影響を与えていて、そこに余裕の検討が長引くという。
0:30:27	こともあるので、割とその部分っていうのはどう考えるべきなのか、先ほど申し送り事項だけではなくて、全体的にその床応答が変わると機器の設計に影響を見ますと、
0:30:39	WEBの中で基本的にほとんどはこここうスケジュールが第3回でそれ完成指示が出てきてるんだけど、そのあとに、基金も設計耐震設計が割り振られる。
0:30:52	というようなスケジュールだったらまだわかるんですけどそういうふうにはなっていないので、普遍もですね、かんがみてどういうふうなスケジュール渡そうスケジュール的な余裕をとるべきなのかっていうことも、
0:31:03	あと説明の順番ですねそれも含めてですね、また、今日はできないでしょうから、また今後、ちゃんとその辺は説明いただければと思います。以上です。
0:31:14	はい、中国電力のアビルです。今おっしゃった積算のところ、ちょっと具体的な例で言いますと、別紙1の
0:31:23	2ページ。
0:31:29	この辺にですね、
0:31:32	えっとする。
0:31:34	このうち版上の位置に損し56上から7行目に、設計用床応答スペクトルの作成方針っていうのがございまして、ここでまず1回出すのは、その下の原子炉建物とかタービンとかまず間接支持候補動物後の
0:31:53	建物に関してまず第1回でお出して、それとあわせてその床応答に関しては、第1回で出そうと考えておりますので、土木構造物の間接支持構造物は、第2回、
0:32:05	その床応答スペクトルが出ていくというような段取りを考えておりましたがまずは建屋と地域の床応答スペクトルをまずお出して議論いただきたいというふうに考えております。以上です。
0:32:26	はい。
0:32:27	規制庁エザキですんで多分そう段階である使用とか責任のモデルの妥当性だけじゃなくて、構造上の問題も踏まえて、必ずいつも出て不確かさというのが出てきていきたいとして上がってきてると思うんですね。ですから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:42	それも含めた形で、ある程度はじめそういったもトライは
0:32:49	許可段階でなくてももし工認段階でわかってるならそれはそれですね早目に提示いただいて説明順番を考えてスケジュールを組み立ててください。以上です。
0:33:03	はい、中国電力のアビルですその辺悪者もですね、そうした方が審査が効率的にやっていたかと思ってますので、問題点とか先行で出てる話今当社固有の話を含めて第1回ですっきり耐震設計の方針のところですね。
0:33:18	御説明させていただいてその後を計算をどんどんやっていくというような動きをしたいと思います。以上です。
0:33:34	。
0:33:35	規制庁のナグラです。
0:33:38	パワーポイントの資料の4ページ目。
0:33:45	第2回補正の内容と第2第3回補正の内容の内訳の中で、
0:33:51	耐震性に関する説明書のうち、設計上重要な設備を設置する施設の下位審査に関する説明書仮設支持構造物
0:34:00	おそらくケーソン処分だと思うんですけど、ここで第2回で10個。
0:34:07	それから第3回で20個で、トータル38個全部出し切ります。
0:34:14	としてるんですけど、この内訳をですね今後はっきりさしていただいて、
0:34:19	それで、
0:34:22	今回この資料で明示している論点、
0:34:27	議会のものも重要なものもありますので、これとのちょっと関連性をですね明確にしてもらって、第2回、第3回の補正申請以降にやる事項とか、
0:34:43	そこをちょっと明確化してもらいたいなと思います。
0:34:49	はい、中国電力のアビルですと今回ザツとの計画の御説明ということで詳細については示しておりませんが、まずパートの3ページを見ていただきますと、
0:35:01	下から123C5行目に耐震に関する説明書、設計上重要になっていうふうにあるんですけども、この部分の8冊っていうのが、先ほどちょっと江崎さんにもお話したように、建築の建物の
0:35:18	計算書を、地震応答計算書を出したいというふうに思っておりますので、2回目については土木構造物、あとは残りのもの、あとは波及影響とかのものも出そうと思ってます。なので、ちょっとそこら辺ブレイクダウンしたものをですね。
0:35:33	次回の打ち合わせでもですね、御説明させていただきたいと思います。
0:35:37	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:40	規制庁のナグラです。
0:35:44	これまでの実績としてABWRの実績として、まず柏崎
0:35:50	それから今審査中ですけど、女川、
0:35:54	こういったところの実績を今後よく見ると、
0:36:01	第3回目の補正というか、最後の補正はなるべく
0:36:06	早めに出して、
0:36:08	中身もなるべく軽微なものに
0:36:13	しようという試みはあるんですけど、実際はやっぱ非常に計算時間がかかったり複雑な計算をしているものは、
0:36:22	遅くなっているという実績でおそれこれがいつ出てくるかがそのあとの審査期間を
0:36:31	実は規定し、規制してしまっているというのが今の実態です。
0:36:37	ですから、第3回の申請
0:36:41	から、
0:36:43	何ヶ月かっていう
0:36:45	期間が必ずかかると。
0:36:48	それをちょっとちゃんとよく柏崎とか見ていただくと、どれぐらいのスケジュール感になるのかなっていうのはわかると思いますので、そこはよく見た上で、なるべく第3回目をボリュームを軽くするとか、
0:37:06	第2回にホップ論点第2回まで論点に関わるもの出すとか、そこら辺はちょっとよく検討してもらいたいと思います。以上です。
0:37:19	中国電力アビルです先ほど第二期ガイダンス第3回に出すものも含めてですね、論点とか、或いはナグラさんおっしゃられたようなことも含めてもまずはちょっと第1回ですね、提示させていただいて、条件とかも含めて審査いただいた後に、
0:37:35	計算にかかってなるべく早く第3回を少なめにできるように動きたいと思っております。以上です。
0:37:48	規制庁のテルイス他何かあります。
0:37:52	上部層かなあ。
0:37:57	はい。
0:37:58	じゃあ、少し私から何点か今まで出てきた話の念押しみたいな話になりますけど。
0:38:06	購入設工認に向けてですけど、再三出てるように、許可からの引き継ぎ事項ですね、耐震に限りませんプラント側もそうですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:17	許可からの引き継ぎ事項はきちんと整理をしてですね、M漏れだと言ったようにしてくださいというのが1点。
0:38:26	それから、ヨシザキも少し言いましたけど、ここに
0:38:34	先行実績のないようなものを使うとかですね或いは手法が違う解析手法が違うようなものみたいなものも、これもきちんと抽出していただいて、説明をしてくださいというのが2点目です。
0:38:53	御説明の中でもそういったところをきちんと抽出をしてそれ御説明するようにしますというふうな説明を受けて、
0:39:00	説明していただいたのでいろいろなくやっていただけるとは思ってますけれども面々落ちということでお伝えをさせていただきます。
0:39:10	それから別紙2のほうを見ると、多分ほかのサイトもそうなんですけど、一番最初って作成要領
0:39:18	基金基本ルールですねご設工認作るでの基本ルールのところから、どのサイトも作ってますけど、それもませ先行炉見られてると思いますけど1000抗力見てですね、今向こうのスケジュールだと思う。
0:39:34	来週にも出てくるというスケジュールになってますけど。
0:39:38	今まずこっから作って基本ルールを作ってつくっていかないとちょっと自体が作り込めていけないのですね、まずこっから議論をしていきたいと思しますので、ちょっと来週できるって来るんですか。
0:39:58	中部電力ナイトウです。来週提示は可能と。
0:40:02	考えております。
0:40:09	報告ありまして
0:40:11	準備ができたというところで来週にも準備が可能ということであれば受けております
0:40:17	実は資料どう進めていくのかっていうのはまた事務的に調整をさせていただければと思います。それから、今この線表を見ると、補正のタイミングで第1回補正ですけど、
0:40:32	許可の時期がいつになるかっていうのはあるんですけども、今のところは8月末に置かれていて、これはだから許可よりも前に補正をしようと思ってるのでしょうか。
0:40:46	中国電力アラシバです。そういうわけではなくて今我々が想定する説明可能時期ということのフラグの立て方としては設置許可後を想定したタイミングで、ここで相談するという事です。9長のテルイです。そうすると今ここで1回補正というのが8月末に置いてありますけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:06	これらの許可のタイミングによっては前に穴が後ろにあるかってなるというふうに理解しておけばよろしいですか。
0:41:14	中国電力の長でございます。アラシバです。その通りでございます。
0:41:19	はい。
0:41:19	規制庁の手ですわかりますじゃ最短で8月末には出せるけれどもそれは許可の状況見て局許可後に補正するということで理解をしました。それがもしその1階が遅れるようなことになるとですね、その許可との関係で、
0:41:36	遅くなる可能性もあると思うんですけどそうなった場合にその第2回補正とか第3回補正も同じスパンで後ろになるってということになるんでしょうか。
0:41:48	中国電力の仲條でございます。第2回、第3回の2月以降とかっていうスケジュールまでの影響はないとこのタイミングではまだ考えてございませんでそのままの位置付けで準備をしていくということで考えてございます。以上です。
0:42:04	規制庁のテリイですがありました。
0:42:08	今いずれにせよ、許可の補正になるということで、第2回とか、二酸化硫黄については特にその最初が遅れることによる影響はあまりないであろうということですね、それから第3回のところはかっこ書きで、
0:42:25	2月以降、なってるんですけどもこれはだからまだ時期が確定をしてもおそらく同じぐらいにはなるであろうということで置いて一定時期が確定してないというので、括弧書き2月以降となっていると理解すべきですか。
0:42:39	中国電力の話です。その理解でよろしいかと思えますまだ明確な社内でもですね、明確な時期が確定できていないということで、細則の値と工程を示して、またこれから、どこでっていうことを確定していくかなというふうに思ってます。
0:42:57	以上です。
0:43:02	規制庁のテリイです状況としては立地にします。
0:43:08	はい。なんですねスケジュールは大体このような形で今想定上組まれているということを理解しましたけれども、
0:43:21	もう少しそういう意味では近くなってきたらもう少し多分することが今8月理事においてますけれどもそれぐらいの時期になるともう少し許可との関係でも見てくる状況が見れると思えますし、或いはその
0:43:35	そのこの1ヶ月で全部、当社の準備も進むかと思えますし、その間にも多分、作成要領の議論とか、できる範囲はやれると思えますのでそうしながら、少しもう少し、
0:43:50	1ヶ月後を上にはもう少し詰まっ詰まったっていうか、状況が見えるようになってくるのかなと思えますので、スケジュールに関してはですねまああのタイミングでしっかり作り込んでいただいて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:10	これ進捗してんのか遅れているのかとかそういうのもこれも先行オオノではや ってますけれどもスケジュール自体、見える化していただいてですね、計画ス ケジュールという計画ですね、見える化していただいて時実績等を計画と実績 がわかるような形で管理できたらなと思ってますので、
0:44:29	その辺の対応もよろしく願いいたします。
0:44:33	私から 11 ということをやったんですけれども、
0:44:38	言っていないことを言っておきたい。また追加でありますか。
0:44:43	プラス、
0:44:51	規制庁のナグラです。
0:44:57	こちらの
0:44:59	状況も今後いろいろと
0:45:02	ありますので、おそらく許可等、設工認は同じチーム。
0:45:07	で見ていくことになりますので、そういう意味では、まず許可のイベント
0:45:13	こちらのほうの処分に対してこちらは集中せざるを得ない。
0:45:17	それからそのあとのプロセスとして地元の説明プロセスとかもあり得ると。
0:45:23	そういう状況の中でおそらく事業者の方で第 1 回の補正をしてくと。
0:45:29	その場合に第 2 回、11 月と言っているものに関して、おそらく資料の第 1 回目 のでき次第、
0:45:40	だと思んですけど、審査の進行具合っていうのは、おそらく第 1 回申請から 第 2 回申請のこの 2 ヶ月の間で第 1 回申請分がある程度進むかっていうと必 ずしもそうでもないかもしれないと、ここは、
0:45:57	事業者の方で速やかに補正はしますということはいいんですけど、そういう意 味で少しですね、これまでの案件もそうだったんですけど、スタートアップする ときはそんなにお互いに
0:46:12	相手を知るということも含めて、
0:46:15	時間は少し必要だと本格化するまでのスタートアップをいかに早くするかって いう意味では、そこは数ヶ月から半年は必要だということと、あと、実際、
0:46:31	補正の回数を後ろの方があんまり変動が切れていないので、実際はできてか ら、
0:46:39	審査ができるのとあわせて審査が進んでいくと。
0:46:45	いうことがあるので、なるべく早めに
0:46:48	’切るということを考えていただくとして、効率的な説明というのはその時々によ って変わるかもしれないんで柔軟に対応してくださいということですけど、もう 少し規制があると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:04	そちらのほうで少し意見交換なりコミュニケーションをした上で、そちらのほうの説明計画というものをより効率的かつ現実的なものにしていく必要があるのかなというのとは今日見た感じですか。
0:47:20	そこんところは今後意見調整等した上でそれを踏まえて対応していただきたいなと思いました。以上です。
0:47:30	中国電力アビルですまさに今ナグラさんがおっしゃられた通りですね我々もですね、懸案事項っていうのは申し送り事項も含めてですね、把握しております、まずはそれをちょっと出させていただいて、そこら辺の進み具合を見て、
0:47:45	なるべく早くですねそれを反映した計算書なりを果たしていきたいとで審査に望みたいというふうに考えておりますので、また先ほどチギラさんからもありましたようにもう少しブレークダウンしたものも含めてですね、事前に議論させていただいてですね、進め方も含め、
0:48:02	我々も対応していきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。
0:48:12	規制庁のテレイです。はい。ほかよろしいですかね。
0:48:17	それとPULiMSですか。はい。それでは本日の面談はこれで終了したいと思います。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。